

2017年10月4日

トヨタホーム株式会社

## 戸建商品「ESPACiO Mezzo」が 2017 年度グッドデザイン賞を受賞

「プライバシーを守りながらも開放的な質の高い住宅」と評価

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉1丁目23番22号、取締役社長 山科忠）の鉄骨軸組工法戸建商品「[ESPACiO Mezzo（エスパシオ メッツォ）](#)」が、2017年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

Mezzoは2005年に発売以来、都市型住宅として幅広い支持をいただいております。都市に住むことを前提に建物外壁が外塀を兼ね、防犯性を高めると同時にプライバシーも守る一方で、光と風をふんだんに取り込んだオープンなプランニングが可能となっております。

今回はこうした従来からの特徴に加え、①狭小化対策 ②高齢化対策 ③省/創エネ対策—の三つの課題への対策を用意することで審査委員から「プライバシーを守りながらも開放的な質の高い住宅が実現されている」との評価をいただきました。



GOOD DESIGN  
AWARD 2017

「ESPACiO Mezzo」



トヨタホームは商品や新しい住まいの提案などを通して「建てる時の安心」「建てたあとも安心」「支える安心」の三つの安心をお届けし、60年長期保証制度※などで生涯サポートします。

※トヨタホーム販売店による点検と適切なメンテナンスが必要です。

# 「ESPACiO Mezzo」の特徴

## <1> 狭小化対策 : 高密度化する都市への回答



GOOD DESIGN AWARD 2017

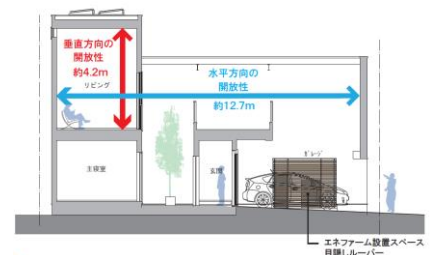
### ① 収納力向上

天井高 1.4m以下、階・床面積対象外の大収納を実現。  
 ・収納率が約3倍に増加(2005年コンセプトプラン対比 7.6%→26.2%)



### ② 居住空間の質向上

閉鎖的になりがちな都市居住空間を  
 水平・垂直方向に拡大。  
 ・垂直方向:リビング天井高 約4.2m  
 ・水平方向:リビング+外部吹き抜け 約12.7m



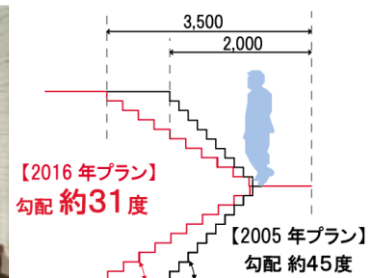
## <2> 高齢化対策 : 日本が直面する社会問題への回答

### ① 安全性向上

超緩勾配階段(勾配 約31度)で家庭内事故の重篤化を抑制

### ② 4次元設計(TASP)

新築時にあらかじめ加齢による身体機能の変化を予想し、  
 構造に配慮したプランニングで大改修を伴わず間取り変更が可能。  
 【例】 [新築時]超緩勾配階段 ⇒ [将来]EV+一般的な勾配階段  
 ※TASP:心身ともにアクティブに暮らせる住まいの提案(2014年度グッドデザイン受賞)



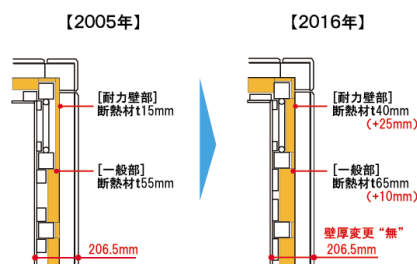
「超緩勾配階段」

## <3> 省/創エネ対策 : 都市住宅でのゼロ・エネルギー・ハウス対応

### ① 高断熱化

大開口を確保しながらU<sub>A</sub>値「0.6」の断熱性能を実現。

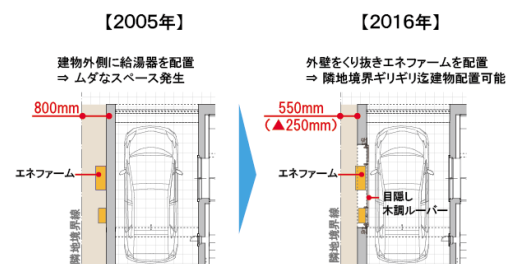
壁下地納まり改良で断熱材設置スペースを確保  
 壁厚寸法を変えずに高断熱化を実現



### ② エネファームの省スペース設置

隣地境界線から外壁までの必要寸法を短縮。

エネファームの設置、メンテナンススペースを最小限確保し、建物内に計画  
 隣地境界線~外壁迄の必要寸法を短縮(800→550mm)し、隣地境界  
 ギリギリまで建物配置可能に



### ③ 太陽光パネルの最大限設置

都市型住宅で発電量 4.84kw を確保



以上